



## 太田地区

人とのつながりは、「地域のお宝」で、お互い顔の見える関係から始まり、いつの間にか支え合いに発展します。地域の何気ない活動も5年後、10年後、人生を豊かに過ごすための糧となります。あなたの今のつながりを「支え合い活動」として意識してみてください。

# 災害時



# キッチンカー作製プロジェクト



**新田製パン**の役員**星野さん**は、東日本大震災で約1万食、能登地震で約3千食のパンを寄付してきました。こうした経験から、「災害時にキッチンカーで温かい食事を届けたい」という思いを抱くようになりました。その後、母校である**太田工業高校**の**小竹先生**との再会をきっかけに、同校の協力を得て、2024年1月1日にプロジェクトが発足。**電子機械科**の**生徒たち**とともに、大型中継車の改装に取り組んでいます。

さらに、**NPO法人新田フードサポート**を2025年1月23日に設立し、群馬自動車大学校や企業・団体からも支援を受けながら活動を広げています。完成後は、災害時だけでなく、平時には子ども食堂としての活用も予定しています。



幅2.5m 高さ3.5m 長さ10m  
日本で一番大きい災害支援  
キッチンカー。  
大型発電機や炊飯器、オーブンなどを備えています。

# 地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～

## 作業の様子



## NPO法人新田フードサポート(新田製ハン内) 理事長 星野 茂 さん

作製が始まると、様々な企業とつながりができました。この事業は、1+1の答え以上の成果を出しています。皆様のご協力のお陰です。



## 太田工業高校 小竹 隆志 先生

実際に使われる車両の作製は、生徒たちにとって、「実践」としてとても貴重な経験をしています。災害についても考えることもできています。



## 電子機械科3年生 出口 椋雅 さん

授業で習っていないステンレスを溶接するTIG溶接は何度も練習をしました。食事は生活の中で一番大事なことになるので、食事支援を試みたいですね。



## 電子機械科3年生 福田 優音 さん

台風で家が浸水したことがあります。災害支援チームがあるといいです。学生なので、今は現地には行けませんが、募金活動などで協力したいです。



## 電子機械科3年生 増山 拓哉 さん

つなぎ目は1mmの狂いがないよう気を使いましたが、きれいに仕上がりました。災害があれば、学生で出来ることは限られますが、精いっぱい支援したいです。



## 車両ラッピングデザインについて

つながることが地域づくりの第一歩

## 太田 支え合いネットワーク



地域のことを話し合う太田支え合いネットワークでは、現在「※長期休暇における子どもの居場所」の実施について検討しています。いくつかの地元企業様にご支援を依頼していますが、「新田フードサポート」様にも同様に依頼をしています。※給食のない夏休みや冬休み期間に子どもたちが安心して食事ができる場を検討しています。



描かれている

- チュウシャクシギは「諦めない」
- 八角星は「復活」という意味

星野さんの夢は、災害時に温かい食事を届けること。目標は一度に500人分です。中古車を改修する災害時キッチンカーの完成には、1人で10年かかると考えていました。しかし、小竹先生とのつながりから、太田工業高校との共同作業により計画は着実に進み、企業などの協力も得て、つながりがプロジェクトの達成や地域を動かす大きな力となっています。

過去の記事は  
こちらから  
つながる通信



○お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係  
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208